

しゃかいふくしほうじん ぼくじょう しょうがいしゃしえんしせつげんきまる
社会福祉法人いきいき牧場 障害者支援施設元気丸
れいわ ねんど ちいきれんけいすいしんかいぎ きじろく
令和7年度 地域連携推進会議 議事録

1 日時

れいわ ねん がつ にち か
令和8年2月10日(火) 10:00~11:30

2 場所

しゃかいふくしほうじん ぼくじょう かぜ やかた かい
社会福祉法人いきいき牧場 風の館 2階

3 参加者

No.	区 分	所 属	出 欠
1	利用者	障害者支援施設元気丸	出席
2	利用者家族		出席
3	地域の関係者	地域の関係者	出席
4	福祉に知見のある人	近隣の福祉関係者	出席
5	市町村担当者	盛岡市障がい福祉課	出席
6	管理者	障害者支援施設元気丸	出席
7	地域移行意向確認担当者	障害者支援施設元気丸	出席
8	法人事務局	障害者支援施設元気丸より1名	出席

4 タイムスケジュール

(1) 構成員・参加者 自己紹介

(2) 施設見学

(3) 地域連携推進会議の目的について

(4) 障害者支援施設元気丸の運営等について

(5) 質疑応答、意見交換

① 「広い面積で増築もある複雑な建物ですが、利用者さんの避難訓練はどのように行っているのでしょうか?」「障がい特性上、行動に移すことができない方についてのマニュアルはあるのでしょうか?」(福祉に知見のある人)

→ 日中に、地震や火災を想定して年2回行っています。利用者さんの障がい特性上、急な日課の変更でパニックになる方もいるため、事前に予定を伝達しています(地域移行意向確認担当者)。

→ 全スタッフが特性を理解し、データ等で共有しています。そのため、職員それぞれが利用者さんの行動に対応することができるとともに、変更や調整等のやり取りも可となります(地域移行意向確認担当者)。

② 「入所を希望する方の待機登録は行っているのでしょうか?」(福祉に知見の

ある人)

→ 問い合わせは依然としてありますが、待機登録は行っていない。空きが出た場合は、居室といった物理的な環境や利用者さん同士のマッチングを加味しながら、短期入所を利用している方へ声をかけることが多い状況です(法人事務局)。

③「給食は自前でしょうか？」(福祉に知見のある人)

→ 外部委託です。人件費や食材費、輸送費と毎年値上げが続いていますが、利用者さんにとって食事が一番の楽しみですので、質や量は落としたい、という気持ちで委託先とは交渉しています(元気丸管理者)。

④「入所できないと思っていましたが、同じ日課で過ごすことが出来る環境が我が子には合っていて、偏食にも配慮してもらって、食べれるものが増えました。」「私自身、親の介護もあったので、入所させてもらって、ありがたく感じています」(利用者家族)

⑤「元気丸で、部屋で switch をやった」「いまは、二人部屋」「(元気丸での生活は)大丈夫」「ごはんはおいしい」「〇〇(利用者さん)はつねってくるから、大嫌い」(利用者)

1 地域連携推進会議の目的について

以下を主な目的に、施設・事業所において、地域の方と外部の方等を構成員とした会議体を設置し、会議の開催・構成員による施設訪問を実施します。

- (1) 利用者と地域との関係づくり
- (2) 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- (3) 施設等やサービスの透明性・質の確保
- (4) 利用者の権利擁護

2 障害者支援施設元気丸の運営等について

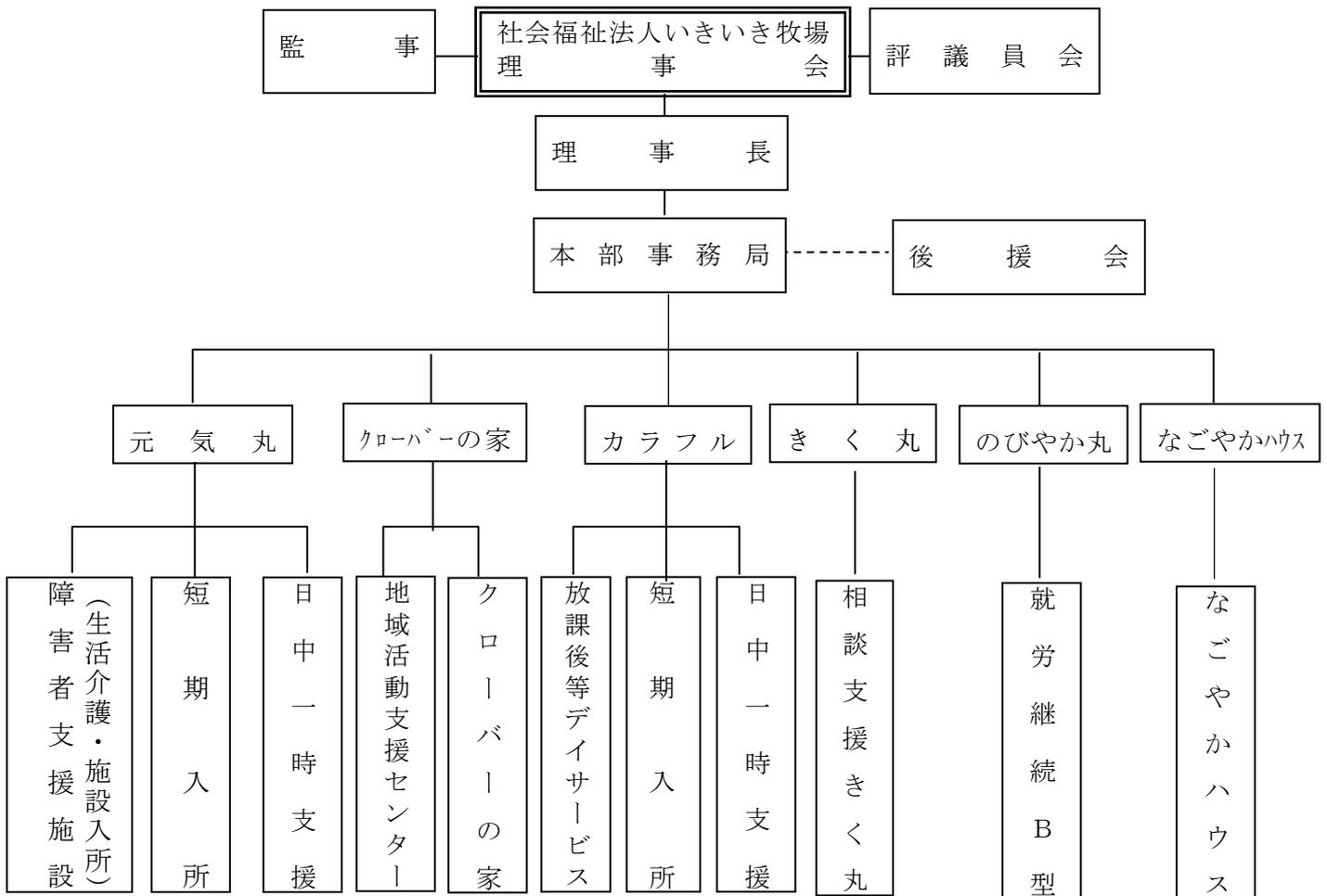
○ 施設等・地域の連携、施設等やサービスの透明性と質の確保

(1) 法人基本理念・法人組織図

① 社会福祉法人いきいき牧場 基本理念

障がいを持つ人も、健康な人も、老人も、子どもも、共に働き、共に喜び合って暮らせる社会の実現を目指してきました。これからも、この基本理念に基づき、障がいを持つ人も持たない人も「共に生きる」社会の実現に積極的に取り組んで参ります。

② 法人組織図



(2) 障害者支援施設元気丸 サービス利用契約状況 (令和7年4月1日現在)

	施設入所支援	生活介護
定員	50名	60名
主たる対象者	知的障害者 (18歳未満の者を除く) 精神障害者 (18歳未満の者を除く)	
男	30名	8名
女	20名	4名
合計	50名	12名

くぶん区分	施設入所支援				生活介護			
	区分3	区分4	区分5	区分6	区分3	区分4	区分5	区分6
	0	0	14	35	0	2	8	2
平均	5.73				4.59			
ねんれい年齢	さいしやうれい最少齢	さいこうれい最高齢	へいきん平均		さいしやうれい最少齢	さいこうれい最高齢	へいきん平均	
	18	85	49.66		28	80	45.92	

(3) 日中活動

① 作業班と作業内容

作業班	作業内容
農園芸班	農産物生産作業、椎茸栽培、花苗育苗作業、プランターリース、リネン交換
受託・個別プログラム班	フルーツキャップ、リサイクル作業、個別の教材を用いたプログラム
おり班	手芸作業、機織作業、個別の教材を用いたプログラム
あすなろ班	木工作業、塗り絵、散歩、音楽活動、動画鑑賞
余暇班	塗り絵、テレビ鑑賞、洗濯たたみ等

② 年間行事

月日	実施内容	備考
4月末	元気丸花見	桜の開花状況にあわせ場所を選定
8月	元気丸夏まつり	
10月	元気丸・のびやか丸合同収穫祭	高畑地区の方も招待
12月末	年末行事	年賀状作り・おやつ作り
1月1日	正月行事	元朝参り(浅岸神社)

(4) BCP (Business Continuity Plan 事業継続計画) について

自然災害、感染症それぞれの研修会と訓練を年2回実施。

- (5) 苦情関係
令和7年度は施設への苦情は入っていない（最終の苦情は令和元年9月）。

○ 利用者の権利擁護

(1) 事故関係

地域連携推進会議開催前直近の事故発生状況。

No.	発生日	利用者 概要	年代	事故の概要	事故後の経過
1	R7.4	男性 入所 利用者、 区分6	40代	他利用者から押され転倒、右肩峰骨折の診断	骨折部位に負担がかからないよう保存的に対応し、4週間後に完治
2	R7.5	男性 入所 利用者、 区分6	50代	昼食前に意識喪失しAED使用してもショック不要のアナウンス、119番通報し病院へ搬送	血液検査の結果、低血糖、貧血、脱水が認められ、また入浴後に長時間同じ姿勢で過ごしたことで頭部に血流がいかなくなったことも失神の原因とのこと。点滴後に施設へ帰所。
3	R7.10	女性 入所 利用者、 区分5	50代	サイズの小さい私物の指輪が外れなくなり、消防署のリングカッターで指輪を切断	指輪を切断後に休日当番医を受診し、抗生物質入りの軟膏と化膿止めの薬が処方

(2) 権利侵害・虐待関係

① 権利侵害関係

No.	発生日	利用者 概要	年代	権利侵害の概要	その後の経過
1	R7.6	男性 入所 利用者、 区分6	30代	トイレ以外の場所での放尿が頻回で、その回数が多くことに苛立った男性職員が、利用者の頭部を叩く	目撃した同僚が声をかけた直後は職員も興奮状態だったが、改めて注意を行ったところ冷静さを取り戻していた。直属の上司と、日を改めて施設長よりそれぞれ注意・指導を行った。

② 虐待関係

ア 令和7年3月31日(5盛福障第567号付)通知により盛岡市から身体的虐待行為として認定を受けた。

イ 身体的虐待行為の概要

㊦ 発生日

令和5年7月から8月にかけて

㊧ 虐待行為の対象者

生活支援員が1名の元気丸入所利用者に対し、手首を持ち強引にソファに座らせ、また、利用者の手首を抑え(利用者の上から)アルコールスプレーを噴霧し頭部の自傷箇所にてペーパータオルを1分ほど強く押し付けた。他に、強引にソファに座らせ、手を大きく振り上げ、利用者のこめかみあたりをひっぱたいた。

ウ 身体的虐待行為として認定された前後の対応

㊦ 家族等への説明

令和6年11月に家族会副会長、事務局 長へ経緯を説明した。対象利用者の家族へは令和7年1月に電話で説明と謝罪を行った。元気丸入所利用者の家族等へは、虐待認定後の令和7年6月に文書で報告と謝罪を行った。

㊧ 理事会等への説明

令和7年2月と3月、令和7年6月にそれぞれ開催された当法人理事会及び評議員会で、事案に関しての説明を行った。

㊦ 盛岡市への是正改善報告の内容

令和7年4月14日に改善状況報告書を提出した。

以上